

結婚20周年記念 ヨーロッパ旅行

ロマンチック街道とスイスアルプス・パリ 9日間

旅行日 1987年4月26日～5月5日

旅行業者 近畿日本ツアーリスト

4/26

- 11:34 鹿間発
- 12:28 近鉄四日市発
- 13:13 ひかり 名古屋発
  - \*東京八重洲口より歩いて 15 分 ホテルイン東京にチェックイン
- 15:30 買物外出 秋葉原でウォークマン(¥28,000)購入
  - \*上野・アメ横ぶらり うなぎ弁慶で夕食
- 19:30 ホテルインに帰着

4/27

- 6:00 起床
- 7:15 朝食
- 7:33 チェックアウト
  - \*タクシーで TCAT へ (途中盛んに成田までサービスすると勧誘される)
- 7:38 TCAT 着 成田までの乗車券一人(¥2,500)
- 7:45 TCAT 発 首都高速→湾岸道路→京葉道路→成田・北ウイング着 9:00 頃
- 9:15 西濃航空サービスへ TEL スーツケースの配送依頼
- 9:30 Dカウンター横案内所前 荷物を一部入替え
- 9:45 D-50番近畿ツアーリストの添乗員(小峰さん)に一番にチェックを受ける。
  - \*パスポート、トラベラーズチケット、搭乗券、入口カード、荷札など
  - スーツケースのベルトは盗まれるので外す。
- 10:50 時刻表前集合 全員を簡単に紹介、諸注意、空港使用料(¥2,000)
  - \*手荷物、ボディチェック(フィルムケース、ビデオ検査を受ける)
  - 23番乗場 途中スナックで軽食
- 11:40 SU582便(エアフロート)に搭乗 座席14A, B
  - \*内部は新幹線より少し広いぐらい、乗車率80%程度
  - 離陸距離も短く、天気も良く、快適なフライト
  - \*15分位で日本海側の雪の山が2,3見え、佐渡ヶ島を後に海の上

- 約1時間程で雲の上から、雪一面の景色に
- \*雪のシベリア上空を7~8時間、モスクワ着15分前まで同じ景色
- 17:00 (日本との時差 5時間)
- \*モスクワ空港到着、パスポート検査、
- 21番口(一番奥)でホテル行きのバスを待つ
- \*交替で土産物店で買い物(1ルーブル=¥240)
- 18:30 予想より早く出迎えが来る、路面電車のようなバス
- \*1人づつアエロフロートのキップを受取りバスに乗車(我々が一番)
- 18:40 2分でホテルに到着
- \*20階建だが、外観も内部もひどいもの、従業員も予想通り愛想がない
- しかし昨年よりは随分良くなっているようだ。
- \*受付で711の紙切れを受取る、この紙切れと部屋のキーを変換する
- 部屋は何もないがきれいになっている
- \*ベッドもソファもランプも粗末、バスは使用不能、トイレ有り
- 19:15 食堂へ行き夕食(クーポン券)
- \*言葉には表せない味で、何とか口に押し込む
- \*従業員のマナーは最悪(私語ばかりしている) 途中から自分で取りに行く
- 19:40 夕食後に数人がホテル内のバーに行ったが、とても行く気にならなかった
- 20:00 就寝

#### 4/28

- 3:00 目覚め
- \*ソ連のこと、シベリアのこと、これからのこと、パリのことを思い巡らす。
- 恵美子も、うたた寝の様子
- 4:00 起床 昨日のことをメモに整理(1時間)
- 5:00 恵美子 起床
- \*夜明けの白樺林を窓からじっと眺める。小雪がちらつき出す。
- 6:00 モーニングコール(ロシアなまりの英語)
- 6:40 ホール集合 乗客のいろいろ
- \*ワルシャワ行きの老夫婦(5~60代)、オスロに行く大道芸人一家
- \*ミラノに帰るオペラ歌手(36歳春日さん・加藤前会長を知っていた)
- \*イヌをつれた老婦人(フランス系)、ウォッカを抱いて毛布を被ったオヤジなど
- 7:10 我々ツアー組が一番にバスに乗車
- \*目の前の空港へぐるっと廻って到着、周囲は昨日より貧弱な印象

- \*空港で搭乗券とパスポート検査(バスに座った分検査が最後となった)
- \*食堂に遅く到着したら、ウェートレスの準備が遅く2回も催促して 8:10 頃  
パンが到着、サラミ、チーズ、ゆで卵、紅茶 他の乗客はじっと待っている。
- 8:30 食事終了 急いで17番搭乗口へ
  - \*「フランクフルト」と大きな声でスチュアデスが呼んでいる  
すでに搭乗が始まっていた(8:50 予定だった)
  - \*機内は90%程搭乗していて、相撲取りのような男性の横に二人で座る  
彼はドイツ人で、モスクワに仕事に行った帰りだった。
- 9:00 離陸 今回も快適なフライト(機内、パイロットともレベルが高い)
  - \*しばらくして機内食(チキン、リンゴ、パン、イクラ、ピクルスなど)  
ほとんどの人が残っていて、隣人は小さな席で動けず何も食べていなかった。
- 10:00 フランクフルト着(時差2時間)
  - \*これが西側の空港だ(モスクワとは雲泥の差)  
スマート、活気、清潔、効率的、入国検査もパスポートも開かずパス
  - \*ソ連の疑り深い目で待たされたことを思うと「日独同盟バンザイ」  
マルク交換 2万円=250DM
  - \*手荷物受取(SUN ワッペン盗られていた)
  - \*ポーターの効率的な積み方に一同感心 12個を小さな台車に何事もなく
  - \*現地ガイドと合流、駅前にチャーターバス待機(運転手Mr. クラウス)
  - \*市内 ゲーテハウス見物(約1時間)
  - \*三越で買い物
- 12:00 レストランで食事
  - \*アップルワイン 2杯飲む
- 14:00 フランクフルト市内を後に(橋の上から教会が見える)
  - \*ライン河めぐり、古城めぐりに出発 “見るものすべて新鮮！！”
  - \*よく手入れされた新緑の森がすばらしい すぐにでも散歩したい感じ  
家並みも美観に配慮されている
  - \*りんごの白い花、レンギョの黄色い花、八重桜のピンク、プラタナスの白い花  
一斉に花が咲き競っている
  - \*途中、クラウスの好意で、つぐみ横丁に立寄る・すばらしい所だ
  - \*ライン河にそって古城が次々に現れる景色は、何とも言えないすばらしさである。
  - \*全体に少し遠すぎるが、止まって見学したいが時間がなく残念だ。  
(ドライブも河下りも同じようだ)
  - \*それよりも河沿いの町並み、家並みのすばらしさに圧倒される

- 17:30 コルブレッツからハイデルベルグへの道でハプニング発生  
\*「最初はライン河沿いに戻る予定を」、クラウスガアウトバーンを通して大回りしてくれることになったが、途中で道を間違え、約1時間この辺を走り回った。彼の好意から出た事で、我々も添乗員も協力して道を探したが、  
\*彼は英語が少ししか話せず、ガイドは独語を少ししか分らず英・独語のチョンポンで大騒ぎをして、2時間遅れでハイデルブルグに到着、全員で拍手  
\*アトラスホテルに到着、急いで食事へ
- 21:30 町を散歩したが、古い市街が遠いので1時間程でホテルに帰る
- 24:00 入浴・就寝

#### 4/29

- 5:00 目覚める  
\*昨夜は何も手をつけられなかったので、荷物の整理、日誌記入等  
\*今日の服装はジーパン、ハイネック、赤のジャンパー  
予想に反して暖かい(日中は暑いくらい)
- 6:30 モーニングコール
- 7:30 荷物出し
- 7:40 食事 朝食のパンが最高、パンを食べるだけで他に何も入らないくらい  
(おいしいごはんはおかずがないのと同じ)  
\*みんなでパン談義、岸田の奥さんは東京の西武で( )ノートという店で似たものがあるという。  
\*後で分かったことだが、岸田さんのご主人は、自民党・広島県出身の国会議員で息子さんが会社を止め、議員秘書として後継の道に進んだので、今回の旅行となった。  
\*ついでに今回のメンバーは  
新婚 3組  
伊藤氏 静岡出身東大航空工学科卒 ホンダ・宇都宮就職 高校の同級生カップル  
彼女は静岡市より車1時間の分教場で、3年間小学校教員  
吉富氏 宇都宮出身東大航空工学科卒 富士重工就職 偶然Aの近くに住んでいる。  
彼女は石野真子そっくり  
安藤氏 横浜・新百合ヶ丘・大塚商会勤務  
彼女は資生堂勤務、いつも二人で行動  
1人で参加の東京外大2年・彦野嬢 KDD国際にアルバイト ウルドウ語選考  
一番若く快活、しっかりしている  
我々二人は、新婚カップルに負けない位仲良く旅行、一番楽しんでいる雰囲気

ガイドの小峰さんは外大を出て一度旅行会社に勤め、辞めて、又添乗員をしている  
独身 30歳前半ベテランではないが、一生懸命頑張っている。

- 8:30 現地ガイド 中山さんの案内でハイデルブルグ城見学  
\*廃城がこんなに美しいものが感激、2時間の見学が瞬く間に終わる。  
ビデオを持ってきて良かった。  
\*城見学の後で、マルクト広場へ  
楽しい雰囲気 ぐるっと早足でまわって ハイデルベルグを後にする
- 11:00 昨日と同じく古城街道をネッカー河沿いに走り、ローテンブルグへ  
\*途中アウトバーンを含め、ドイツの道路網の素晴らしさに感動。  
いつかはこの道を走り回りたい！ 一番前の席で運転している気持ちになる  
\*ドイツの田舎の豊かさね勤勉さ、車のマナーの良さ、少しスピード狂の一面も  
\*通行料はすべて無料、踏切はノンストップ、スピード規制は田舎道でも80キロ  
追越し規制も一部だけ、パトカーの姿もほとんど無く、もちろんネズミ捕りも  
これこそ道路、これこそドライブと感心
- 12:50 ローテンブルグ 中世の町に到着
- 13:00 一気に飲みを見て、レストランで食事、言うことなし！  
\*市庁舎の塔に登って街を一望 言うことなし！  
(恵美子が少し貧血、職員が親切に手当てをしてくれた)  
\*町の土産物店に入った 言うことなし！ ビデオに収めた
- 14:40 出発
- 15:20 デッケンスブール 小休止  
\*ドイツハウスでティータイム  
この地のトイレのきれいなこと、カメラを持って入りたい位
- 16:00→19:00  
ロマンチック街道を一路 ミュンヘン へ
- 19:00 ミュンヘンの近代性、BMWの本社ビルのすばらしさ
- 19:30 市内で少しホテルを探し横道へ、ピンクムードのホテル・メルキューレに到着
- 20:00 ホテル・レストランで食事  
\*みんなで市内に繰り出す、中央駅前から歩行者天国へ  
\*ウィンドーの飾りを楽しみながら、ビアールホールへ  
ビールとソーセージで乾杯、私の片言英語で充分通じる  
\*70歳位の酔っ払いのおじさんと意気投合(バイエルン風スタイル)  
ジャパニーズ・カイザー ヒロヒト バースデー(29日)など  
\*1時間程楽しんで 60DM(¥4,600)

\*肩を組んで写真を取りながらホテルへ

4/30

8:00 ミュンヘンを後に、ノイシュバンへ

10:20 突然思ってもいない場所に、ノイシュバンシュタイン城が現れる

\*ワグナーの音楽を聴きながら走っていると、バスと何度も行き交う。

\*マイクロバスに乗換え、橋の側まで行くと、絵はがきそのものの古城が見えた。

\*ビデオに採ろうとしたら、バッテリーが切れていた(残念)

\*城内は見るもの全てがロマンチック、内装・外観の優美さ、合理性など

\*見学後歩いてレストランへ

14:00 出発

\*西独→オーストリア→スイスと国境を越え、チューリッヒへ

18:00 コンチネンタルホテルに到着

\*到着後すぐにハンホーフ通りへ買い物に行くが残念ながら CLOSE

19:00 ミートフォンデュで会食

\*全員が簡単に自己紹介、みんないい人ばかり、最高のメンバーだ

5/1

5:00 起床

6:00 モーニングコール

6:30 荷物出し

6:40 食事

7:20 出発

\*だんだんとアルプスが近くなるに従って、雪山が見えてきた。

\*手入れの行き届いたスタンドでトイレ休止

10:00 グリンデルワルド到着

\*町中に寄らずに、すぐ登山電車に乗る

\*乗換えのクライネシャイデック駅は、雪の中にあつた。

\*アイガーの北壁を眺めながら、レストランで肉料理と白ワインで昼食

\*土産物店でカウベルとエーデルワイズの小物を買う。

13:00 いよいよ登山電車でユングフラウヨッホへ

\*到着後すぐにスフィンクステラスへ

\*ユングフラウとアレッチ氷河が目の前に広がり、今までに見た最高の景色である

\*しばしの間、本場のアルペン気分にした後、氷の宮殿を楽しむ

- 14:00 ヨッホ発
- \*車内でパキスタン人家族と食べ物を交換(スルメ、オカキ→ )
  - \*クライネよりラウターブルンネンに向かう
  - \*ヨッホの興奮が冷めない中、窓を全部開けた車内で、我々ツアーだけで、ふり回りふり回りしながら、アイガー、メンヒ、ユングフラウを後にする。
  - \*車窓からこれらが雪山が手に取るように見え、グリンデルより景色は良かった。
- 15:50 ラウター到着
- \*クラウスが迎えに来ていた。
  - \*KIOSKで地図を買い、クラウスに通った道をサインペンで書いてもらう。
- 16:20 ジュネーブに向かう
- \*景色を堪能した気持ちで、久し振りに車内で寝込む
  - \*ガイドの声で眠りを覚ますと、ヨッホの登頂記念証をもらう。
- 19:30 ジュネーブ ホテル・デベルンに到着
- \*途中レマン湖の湖畔を通り、噴水とイルミネーションがきれいに見えた
  - \*ホテル内の時計店で自分用に時計(オメガ)を購入する。

## 5/2

- 5:00 モーニングコール
- 5:30 荷物出し
- 6:00 ホテル出発
- 6:50 ジュネーブ駅発 特急GTV 車内は新幹線よりゆったりしている
- 10:40 パリ・リヨン駅着
- \*カメラの紛失に気付くが、車両に戻っても無かったので盗難として処理する。
  - \*バスでJUN(日本食レストラン)へ行き昼食、
  - \*食後市内観光(エッフェル塔、ノートルダム寺院など) 免税店で買い物
- 18:30 メリディアン・ホテル着
- \*スーパーへ買い物に行く、彦野嬢の誕生祝いのミニケーキ購入
- 19:30 夕食

## 5/3

- 6:20 起床
- 7:00 二人だけでタクシーでノートルダム寺院へ、セーヌ河沿いで写真撮影
- \*リュクサンブール公園などを散歩する
  - \*タクシー(ポーランド人運転手)を拾ってホテルへ

- 9:10 ヴェルサイユ宮殿へ、門前は長蛇の列  
\*フランス人の日本語専任ガイドの案内で宮殿内を見学。  
\*豪華絢爛とはこの事か、フランス革命の意味も多少理解できた。
- 12:30 バトームッシュ(セーヌ河観光船)で昼食、2時間の乗船を楽しむ  
\*自由の女神はパリが発祥であることを知る
- 15:00 KAM(ルーブル美術館前)に到着  
\*見学時間が2時間程度なので、駆け足で走り回る  
\*モナリザ、ナポレオンの戴冠式、サムトラケの二ヶ像に直面し感動する
- 18:00 メリディアン・ホテル到着

5/4

シャルルドゴール空港より日本へ